

子どもの居場所訴え

NPO法人「パオ」設立記念 栄でイベント

県内の弁護士や医療・福祉関係者らが集まるNPO法人子どもセンター「パオ」(多田元代表)の設立記念イベント「とり戻

そう、子どもたちの笑顔を」が一日、中区栄四の中区役所ホールであり、約二百五十人が参加した。東京都にあるシェルタ



ー「カリヨン子どもの家」の坪井節子理事長の講演の後、中区大須出身のラジオパーソナリティー矢野きよ

実さんの必要性などについて語る矢野きよ実さん、坪井節子さん、多田元さん(左から)＝中区栄4の中区役所ホールで

実さん司会によるシンポジウムがあり、坪井さんや多田さんがシェルターと自立援助ホーム、児童養護施設の違いなどを話した。

多田さんは「シェルタ

ーは児童福祉法による制度としてはまだ成立してはいない。自治体から予算が出ずに大変だが、居場所のない子どもが安心して過ごすために必要だ」と訴えた。

「パオ」は来年春をめぐりに、子どもの悩み相談やシェルターの運営を開始する。問い合わせは、同センター「パオ」事務局〓電(951)1680〓へ。(山口哲人)